

## 【 秋を感じる日が多くなりました 】



照りつける太陽で汗をかくことも減りました。ときに蝉の声を聞くことはあっても、もう秋の空気です。お変わりなく、お過ごしのことと存じます。

敬老の集いは、ひよこハウスの子どもバージョンも含め、楽しく済みました。今月は、ハロウィンの行事で、保育園のかわいい子どもたちがやってきます。楽しみにしてください。

秋と言えば、気候的にはとても落ち着いた季節という印象です。イネやいろんな果物の収穫の時期になります。そして冬を控えています。

ご利用者の皆さんと人生と季節の秋を考えてみます。昔は、収穫が終わり、忙しい時期の骨休めにお祭りがあったり、湯治に出かけたりしたのではないのでしょうか。

湯治で戻らない身体の痛みや疲れも出てくるでしょう。それでも、今までを振り返り、体や心のがんばりを自ら褒めて、少し頑張っただけで生活を楽しむ時期のような気がします。

職員は、利用者様が、どんなことが得意だったとか、どんなことが好きだったとか、誇りに思っていることなどを知っていると、お話しする時や介護の時に生かします。できるだけ「心地よい」援助ができますように、施設長や直接職員に、それらを情報としていただけたら、幸いです。

当施設は、レクレーションやイベントを大切に、明るい雰囲気、絶えず「心地よい刺激」があふれ、心や体を活性化できるように工夫をしたいと思います。いろんな催しを通じ、子どもたちを含め、いろんな人との出会いとふれあいを工夫していきます。

数日前、リハビリ農園では、落花生の収穫がありました。引き抜いたばかりの土付き落花生の土を取って、洗って塩ゆでにしたものは、とてもおいしかったです。こういう季節感も当施設の食事に取り入れることもできればなどと考えながら、いろんな試みを大切にしたいと考えます。

今月もご利用者、ご家族の皆さんのご協力、ご支援を心よりお願い申し上げます。

佐々木 榮一

